

たいし

第139号

発行/太子町議会 編集/議会広報委員会

議会だより

平成24年6月定例会で決まったこと
7議員が町政を問う (一般質問)

p 1 ~ p 3
p 4 ~ p 7

北広島市との関係強化を…………… P 4
 ホタル保護条例について…………… P 4
 介護予防事業について…………… P 5
 水道施設更新と料金の引き下げ…………… P 5
 農業振興で太子町の発展を…………… P 5
 外出支援のとりくみを…………… P 6

案内板の整備を…………… P 6
 公民館の改修について…………… P 6
 今後の道の駅に対する町行政の考えは… P 6
 浅野町長2期目にあたっての
 町政運営の基本姿勢について…………… P 7

議会の動き

p 7 ~ p 8

件名	結果
◆平成24年度補正予算 一般会計(第1号) 下水道事業特別会計(第1号) 水道事業会計(第1号)	可 可 可 可 可 可 決 決 決
◆条例改正 税条例中改正の件 乳幼児等の医療費の助成に関する条例中改正の件 議会議員の定数を定める条例中改正の件	可 可 可 可 賛成多数 決 決
◆その他 人権擁護委員の推薦について意見を求める件	適任

第2回定例会 議決結果一覧表

第2回定例会は、6月12日から28日までの17日間にわたって開かれました。今定例会では、平成24年度の一般会計補正予算をはじめ、条例改正などがありました。

また、一般質問には、7人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。



6月定例会 主要なことを決めました

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	1億3895万3千円	44億4737万5千円
下水道事業	51万8千円	3億2519万円
水道事業	収益的支出	1320万1千円
	資本的支出	▲702万3千円
		2億5346万3千円
		9147万4千円

平成24年度
補正予算

町長2期目 新たな4年のはじまり 子育て支援策が充実の補正予算に

●一般会計

質疑

問 自然休養村センターの改修はいつごろ完成予定か。

答 観光まちおこしに活用する為、平成25年度中に完成予定。



自然休養村センター
観光・まちおこし活動の拠点に

問 竹内街道1400年記念事業の他市町村との連携は。

答 竹内街道ルネッサンス協議会において、堺市や奈良県葛城市など街道沿線の市町とも広く連携し進めていきたい。

問 子ども医療費の中学校卒業までの現在の対象人数と、予算額の算定の方法は。

答 対象人数は、4月現在中学生546人、小学生954人、未就学児童が614人。予算の算出は2月診療分の医療費から国保対象者のみを抽出し、条例に基づく自己負担額を控除した額を住基対象者で割戻し公費助成額を積算し、約800万円の補正予算額となった。

問 妊婦検診の回数14回に対して、11万6

千840円の支給額で足りているのか。

答 今回の支給額は厚生労働省の基準に基づいて算出しており、府内市町村では一番高い公費負担となる。各医療機関や個人の状況によつては自己負担もあるが、基本的には無いものと考えている。



山田小学校図書室



磯長小学校図書室

両小学校図書室にエアコンが入りました

大阪府下(43市町村)でトップレベルの子育て支援が実現
(7月末時点)

☆子どもの医療費助成、入院・通院とも中学校卒業まで所得制限なしで助成

太子町・堺市・田尻町
能勢町は所得制限あり

☆妊婦検診14回、11万6千840円

太子町・能勢町・大阪狭山市・千早赤阪村

☆子宮頸がん、ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン全額助成(府下26自治体)に加え、水痘、おたふくかぜワクチン助成

太子町・千早赤阪村

※学校施設耐震化、平成25年度末には100%に

主な施策

●災害対策

防災行政無線更新／衛星携帯電話整備(3台)／町道舗装等／橋りょう点検／福祉センターエレベーター改修

●教育施策

中学校給食開始に向けて給食センター改修等／山田小学校体育館、運動場拡張実施設計等／磯長、山田小学校図書室にエアコン整備

●保健事業

乳幼児医療費助成拡充／水痘・おたふくかぜ予防接種助成／妊婦検診助成額増額

●まちおこし事業

観光・まちおこし協会(仮称)設立／45歳未満の新規就農者支援

●その他

観光・まちおこし活動の拠点づくりに自然休養村センター改修／町税のコンビニ収納実施

条例改正

●税条例中改正の件

質疑

問 改正により、どうなるのか。

答 寡婦控除の内容自体には、変わりはない。今までは、寡婦に該当する場合には、申告が必要であったが、今回の改正により、年金所得者の方は、年金保険者に『扶養親族等申告書』を提出する際、寡婦に該当する場合は、その旨を記入することで、寡婦控除が適用されることとなり、税申告が不要となり、簡素化が図られる。



●乳幼児等の医療費の助成に関する条例中改正の件

【内容】 通院にかかる医療費助成の対象年齢を引き上げ、中学校卒業まで助成対象とする。

また名称を「乳幼児等の医療費の助成に関する条例」から「子どもの医療費の助成に関する条例」に変更する。

○11月診療から始まり
○助成を受けることができるのは、町内に住民登録をしている中学校3年生終了前までの子どもで健康保険に加入している人です。所得制限はありません。
○一部負担金一日500円を限度に1ヶ月間に1医療機関ごとに2日まで最高1000円を負担。また、1ヶ月に窓口で払った自己負担額が、2500円を超えた場合は払い戻しがあります。
(詳しくは保険医療グループまで)

質疑

問 11月1日の施行は何か。住民への周知、府内の状況は。

答 電算プログラム修正に約3カ月必要であり、医療証の印刷、発送作業等が必要となるため、早くとも11月1日になる。住民への周知は、8月号と10月号の広報に、7月からホームページにも掲載の予定。また、10月半ばに医療証を送付するが、案内文を同封し周知を図る予定。

11月からの医療証(予定)

医療証		注意事項	
交付者番号	受給者番号	1. この証は、医療費の助成を受けることができる証であり、本人に譲渡してはならない。	2. この証は、 被保険者本人以外に持たず 、本人が所持している。
交付者氏名	受給者氏名	3. 保険医療機関等において診療を受ける場合は、 被保険者証(又は組合員証) に添えてこの証を必ず窓口へ提出していただく。	4. 受給者の資格がなくなったとき又は有効期限が経過したときは、この証を使用することはできません。あらかじめ「 返却 」を返してください。
有効期間	有効期限	5. 返却、廃棄、紛失など発生している医療機関等に変更があったときは、すみやかにこの証を返却してください。	6. この証を破損したり、汚したり又は失ったときは、再発行を受けることができません。
交付	交付	7. 他の法令等により公費負担を受けることができる場合は、その公費負担を優先的に受けてください。	

「議会改革協議会」で協議を重ね

議員定数削減へ

12人 → 11人に

●議会議員の定数を定める条例中改正の件

討論

【反対】 議員・議会への不満に「議会活動が十分に伝わらない」「行政のチェック機能を果たしていない」「議員のモラルが低い」「議会内での取引を優先して審議が不透明」「議会の政策立案能力が低い」等がある。「議員を減らせ」という世論があるからと議員提案で議員を削減することは、議員自らが、議員を否定することになる。住民に信頼される議会・議員は、定数削減でできるものではない。議員が日夜研鑽し、

住民の負担に充分応える議会活動の前進と、住民代表としての議会の審議、立法能力を充実させることが求められている。議会制民主主義の中で、議員だけが町の予算を議論でき、決定できる立場。議員が町政をしっかりとチェックすることにより、議会・議員は必要だと住民の方に知ってもらうことが大切。

住民の負担に充分応える議会活動の前進と、住民代表としての議会の審議、立法能力を充実させることが求められている。議会制民主主義の中で、議員だけが町の予算を議論でき、決定できる立場。議員が町政をしっかりとチェックすることにより、議会・議員は必要だと住民の方に知ってもらうことが大切。

【賛成】 議員を減員することは住民の声を町政に反映させるべく、行政に対するチェック機能が低下するのではないかと。住民と議会とのパイプを狭くしてしまうのではないかと懸念されるところだが、日々の議員

活動を積み重ねることによって住民の負担にこたえることができるかと考える。その意味から論ずれば、議員定数を12名から11名に削減することで、議員みずからの少数精鋭意識を高め、責任感や自己研さん意識を強めるチャンスにつながるかと考える。同時に、住民のほうを向いた議員同士の討議の機会を増やすことになり、議員同士が討議する議会、政策立案を行う議会、町長ら執行機関と切磋琢磨する議会にするためのルールづくりの推進力になると考える。

●人権擁護委員の推薦について意見を求める

全会一致で適任といえました。

井上 芳子氏

北広島市との関係強化を

(この質問は北広島市議の久蔵翁調査から始まる)

山田 強 議員

ホタル保護条例について

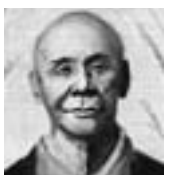
森田 忠彦 議員

問 「青年よ大志を抱け！」札幌農学校のクラーク博士の有名な名言。この後に続く「この老人のように」の老人は中山久蔵翁である可能性が非常に高いが、本町の出身であることは知られていない。久蔵翁は明治時代初期に北海道で寒地稲作に成功し、寒地稲作の父・北海道開拓の祖といわれる人物。現在、北海道では広く稲作が行われ、年間60万トンの生産量を誇っている。江戸時代末期、太子町春日の松村三左衛門さんの次男として生まれ、17歳で志をもって放浪の旅に出、26歳で仙台藩に仕官をし、北海道白老陣屋で北方警備を担当する。40歳で明治維新を迎え、北海道永住を決意。明治四年、現在の北広島市島松の原始林を開墾し、道南の赤毛種で寒地稲作に挑戦。試行錯誤の末、

成功したのは明治六年。その後、種籾の無償配布で北海道全域に稲作が普及。明治36年明治天皇より、緑綬褒章を受章し、大正8年に93歳で永眠。その間2度、帰郷し菩提寺の光福寺に米と石段、石畳を寄進。農家の次男が太子町を出て放浪し、北海道開拓の祖と言われるまでになられた久蔵翁。子供に夢を持たせる本町の誇れる人物の逸話として、多くの住民に広く知らしめて頂きたい。又、本町は聖徳太子という人物をキーワードに地域間交流をしてきた経緯があり、まちおこしの起爆剤として、久蔵翁にも地域間交流に一役買って頂きたい。

島市で多大なる功績をおさめ、今なお北海道民・北広島市民に敬愛されている久蔵翁は、太子町と北広島市との共通した歴史的な文化遺産。両市町の連携・交流が深まればと思う。

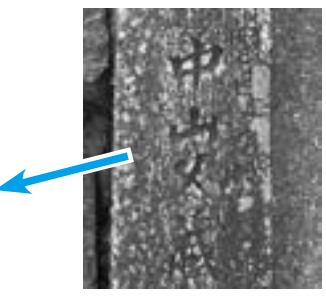
要望 両市町、距離的に離れているが、状況に合う連携を模索し、発展に繋げて欲しい。



久蔵翁肖像画



光福寺山門石段に記される銘



問 本町の夏の風物詩として定着している唐川のホタルは、地元のホテルは、地元のホテルを、唐川ボランティア団体、唐川ホテルを守る会による保護育成活動の成果の賜物である。唐川は、行政により生物にやさしい在来工法を採用したふるさと砂防事業によって整備された結果、ホテルの生息が確認され、保護育成したいという地元熱い想いから、会が設立されたと聞いている。会では清掃活動や植生の維持管理、照明対策等様々なホテルの保護育成活動に取り組み、今年の観賞会では、見事にホテルが乱舞し、会員並びに観賞に来られた皆さんにとって最高の観賞会であった。しかし一方で、延べ3千人を超す来場者の中には路上駐車や、ホテルを捕獲する等、会員の力だけでは環境を守ることが限界が来ている。ホタルが棲む唐川の環境を住民協働の貴重な財産であるという認識のもと、後世に残すまじぶくりに努めなければならぬ。その一助としてホテル保護条例の検討が必要であると私は思う。町としてどのように条例制定を進めるのか尋ねる。

寄せられている由縁と受け止めている。豊かな自然環境は本町の宝であり、ホテルが棲む素晴らしい環境を将来を担う子ども達に、町民の皆さんに、そして後世に残す為にはホテル保護条例の検討は不可欠と考えている。条例により、行政の役割等を明確し、又、唐川ホテルを守る会を支援しホテルの保護と地域の活性化を推進していきたい。ホテルの保護区域等の検討は会の意見を聞きながら今年度中に条例制定を進めたい。

答 まずは、唐川ホテルを守る会の皆様の日頃の活動とご尽力は頭が下がる思いであり、心から敬意を表したいと思います。唐川ホテルを守る会は府下で初めて砂防施設によるアドプトリバーの認定を受けられたこと、熱心な保護育成活動の取り組みと行政が手を加え、生まれ変わった唐川の環境整備によってホテルが棲む魅力ある水辺空間に生まれ変わったこと、これらの一連の経過が訪れる人々の感動を呼び、暖かい支援が



ホタルの乱舞

要望 太子温泉さんに変装迷惑をかけている駐車場、トイレ等の設置についても検討し、受け入れ体制の充実を図るよう要望する。

介護予防事業について

建石 良明 議員

Q 屋外グラウンドゴルフ場の整備について

問 浅野町長は、2期目のマニフェストにおいて「健やかなまち太子」の実現において、高齢者の取組みの具体的な施策として、屋外グラウンドゴルフ場の整備等、外出支援事業の検討を行うと表明している。第5期太子町介護保険事業計画では、スポーツ、世代間交流等、生きがいづくりの場の提供を支援すると共に、社会参加しやすい環境整備を図り、高齢者の生きがいづくりの促進に努めるとされている。高齢者が気軽にスポーツやレクリエーション活動に親しむことにより、健康の維持増進が図られ、介護を必要としない元気な高齢者を増やすことが求められている。グラウンドゴルフは、子供

から大人まで男女の区別なく、誰しもが気軽に乗しめるスポーツであると考えられる。
答 屋外グラウンドゴルフ場の整備について、どの場所でも、何時の時期にも、どのような計画をしているのかを問う。

問 太子町の高齢化率は今年度が21%で、年々約1%増加する見込みである。年齢と共に出手段をなくしてしまいう現実がある。外出支援は高齢者や障害者の閉じこもりの防止といった意味からも、介護予防といった観点からも大事な支援である。介護予防に係る事業として、外出支援事業についてどのように取り組んでいくかを問う。

答 グラウンドゴルフ場の用地は、町普通財産の未利用地の有効活用を図り、整備に当たってはグラウンドゴルフだけではなく、高齢者の方が多目的に使用出来るように考えている。整備時期は、来年度の早い段階で利用が出来るよう計画している。



気軽に健康づくりを

Q 外出支援事業について

答 外出が困難な高齢者等の増加が見込まれる社会情勢において、閉じこもりを防止し、介護予防といった観点からも有効な家から出かけやすくする方策について外出支援に関するワーキングチームを立ち上げ、住民と協働で取り組むことを基本として、太子町に相応しい方策について調査、検討していく。

水道施設更新と料金の引き下げ

阪口 寛 議員

問 大阪市水道局との統合で、橋下市長は、大阪市水道局の民営化と柴島浄水場の廃止を発言し、民営化によって水ビジネスで利益をあげ、浄水場は700億円で売却できるとしているが、水道事業は、目先の利益追求ではない。町長はどう思うか。

答 本町の水道事業は40年を経て更新が必要だが、費用はどれぐらいかかり、財源をどうするか、更新計画の進捗状況を尋ねる。

問 水道料金は、一貫して黒字会計であるにもかかわらず府下で6番目に高い料金。積立金の活用、3%以上の高い利率の企業債の借り換え等で、さらに、広域企業団からの受水料の値下げで、水道料金の引き下げが可能ではないか。

答 また、高齢者世帯への水道料金の福祉金制度を創設して、高齢者に暖かい施策をとれないか。

答 近年使用水量が減少し、収益基盤が弱まっているため、料金の引き下げおよび高齢者への福祉金制度の導入は困難。

問 水道料金は、一貫して黒字会計であるにもかかわらず府下で6番目に高い料金。積立金の活用、3%以上の高い利率の企業債の借り換え等で、さらに、広域企業団からの受水料の値下げで、水道料金の引き下げが可能ではないか。

答 10年間で、農家数は13%の減、農業従者数では50%の減、農地面積は20%減少し、平均年齢は約4歳上昇している。

答 10年間で、農家数は13%の減、農業従者数では50%の減、農地面積は20%減少し、平均年齢は約4歳上昇している。

Q 農業振興で太子町の発展を

問 太子町の農業のこの10年間の変化、高齢化や後継者対策、遊休農地防止、新たな就農

者を得る具体策は。はどう塾の実績と、青年就農給付金制度の内容と可能性は。ブドウ畑の廃園対策は。

答 青年新規就農給付事業は、45歳未満で5年後に農業で生活できる計画があれば、年間150万円の支援を5年間行なうもので、農業を担う若者の確保には有効である。農地が必要な場合は支援したい。ブドウの廃園整備は、規模拡大や新たに就農する農家に農地を貸せるようPRする。

外出支援のとりくみを

西田くみ子 議員

問 町長の所信表明に

「高齢者や障害者の方に対し閉じこもりを予防し、生活圏拡大を目的に外出を支援する為の事業について検討する為のワーキングチームを発足」とある。

堺市の買い物弱者に対する移動販売事業、茨木市のスーパーと商店街が共同で宅配事業に取り組み支援事業、池田市の65歳以上の高齢者のみの世帯を対象に1日当たり2時間以内の買い物等の軽微なサービス提供等の取り組みもある。これらを参考に太子町に合った外出支援策を考えることと同時に、多くの自治体で既に取り組まれている福祉タクシー助成を一番の弱者でもある高齢者、障がい者のために実施を。

答 買い物弱者対策は全国的に深刻な問題であると認識する。

①身近な場所に店を作ること②家や地域の拠点まで商品を届けること③家から出かけやすくなるのが大切。

具体的な方策として高齢者や障がい者の外出支援に福祉タクシー、地域での取り組みに対する助成を含め、幅広い視点での本町にふさわしい方策を「買い物弱者応援マニュアル」(経済産業省)も参考にしながら、ワーキングチームにて調査研究を行う。今後、ますます高齢化が進む中、高齢者を地域全体がお互いに見守り合うというキーワードとして検討していく。

Q案内板の整備を

問 二上山登山や叡福寺など町内散策に来られる方が、案内板、道標が少なく道に迷っておられる。公民館の前にも案内板があるが、

古く、大きければ過ぎる。案内板等の設置を。

答 ホームページでは、太子十景や各天皇陵等を位置も表示して紹介。又、観光スポット、花見、味覚狩り、特産品の紹介等の情報も提供している。今年度、観光事業者や町おこし団体等が参画した観光振興や町おこしの核となる組織の設立を予定しており、民間と行政との役割分担の中でお互いに協力しながらどう取り組むことができるのか、案内板整備に関して優先順位や場所の精査も行いながら今後検討していく必要があると考える。



公民館前にある案内板

公民館の改修について

大鳥 正弘 議員

問 住民の皆さんの身近な生涯学習の拠点施設として、町内唯一の町立公民館であるが、

老朽化が激しく利用者に不便を強いている。この建物は築後北側で54年、南側で35年が経過している。町はこれまで屋上防水工事等の改修、図書室移設に伴った既存施設の改修を実施。現在、住民の文化活動の場として年間約2万人以上の方が利用されている。今後公民館のあり方、整備の方向をどう考えているのか、新築の計画はあるのか。

答 教育委員会では、現在中学校体育館の耐震補強工事を実施、今後山田小学校体育館の新築、中学校給食実施に向けた施設整備等の多額の財源を必要としている。公民館のあり方については、中長期的視点に立って検討を進めて参りたい。

Q今後の道の駅に対する町行政の考えは

答 道の駅の運営に関しては、近つ飛鳥の里・太子運営協議会に委託している。開所当初は観光情報発信や地場産品PRを目的に、同協議会に地域団体育成補助金として交付してきた。PRという初期の目的が達成され、平成22年度から補助を廃止している。町として道の駅は観光をはじめとする地域魅力の情報発信拠点であるという認識を持っている。道の駅にぎわいが町全体の農業振興や観光産業の拡充につながるよう、今後とも側面的な支援に努めていく。

問 太子町の道の駅は、平成9年に大阪府内で2番目にオープンして以来15年を迎える。道の駅運営協議会が運営し、地場産業、農産物の販売、更には道の駅感謝祭、ブドウ祭り等イベント開催は、本町の観光資源のPRに大きな役割を果たしている。運営は平成12年をピークに年間1億円を超えていた売り上げも現在では7千万円弱前後と、大変厳しい経営状況である。河南町、羽曳野市等の近隣に大規模な道の駅がオープンしたことによる影響も大きいのではないかと。オープン当初は町から十分な補助金があったが、現在は無い。協議会の内部努力として人件費の節約等をはじめ、何とか経営を続けてい



道の駅 近つ飛鳥の里・太子

浅野町長2期目にあたっての町政運営の基本姿勢について

田中 祐一 議員

問 町政運営の基礎は財源である。現在の財政状況の認識は？

答 これまで実施してきた行財政改革の成果は勿論のこと、地方交付税総額が三位一体改革前に戻ってきていることや、国の経済対策交付金等も幸いし、財政状況は徐々にではあるが好転しているが、本町の根本的な財政構造は自主財源が4割の依存型で、国の影響を受ける度合いが大きく、一千兆円を越す国債残高を抱える国庫の状況を考えると、町財政は依然厳しく、楽観出来る状況にはない。

問 引き続き行財政改革に取り組むとのことだが、全ての事業について定期的な見直しをし、何らかの形で住民にもその見直しに参加して頂き、その過程を出来るだけ公開するべ

きだと思うが、町としての考えは？

答 事業全般にわたって定期的な見直しを図り、事業の必要性や有効性の評価、新規事業等との重複部分の精査を行い、事業の課題や改善点、そしてその結果等の公表を行うつつ、ご指摘の行革過程の「見える化」についても、パブリックコメントや先進自治体等の取り組みを参考にしながら、本町に適した手法を検討して参りたい。

問 大阪維新の会により大阪都構想が掲げられ、基礎自治体の役割も見直されようとしている中で、広域行政を取り入れたような合併が議論された時の町としてのスタンスは？

答 広域連合や事務の委託等、市町村間の広域的な連携の取り組み

による行財政基盤の強化が求められるようになっており、市町村のあり方について少なからず本町にも影響が波及してくることも考えられるが、何れにしても議会並びに住民の理解を得ながら進めて参りたい。

問 職員基本条例と教育目標について首長の関与を規定してある教育基本条例に対する町としての対応は？

答 本町では、職員の給与や勤務条件等については、従来から個々に条例や規則等で定められているところであり、職員基本条例の制定までは現在のところ考えていない。

現状通り教育委員会が設定する教育目標を尊重し、お互い連携する中で教育行政を推進して参りたい。

議会のうごき

研修・報告

視察



巨大なクレーンに吊り上げられる屋根部分



中学校体育館耐震補強工事実施始まる

待ち望まれていました中学校の耐震補強工事が始まりました。視察時には、屋根（シルバークール）部分を降ろす作業がすすめられており、12.5tものコンクリートの塊が何枚も降ろされていました。この重い屋根を軽量化し壁を補強することで、耐震が増します。また、同時に体育館に舞台をつくるなどの整備を行ないます。

町村議会議員
セミナー

8月3日、おおさか市町村職員研修研究センターにおきまして、『町村行政の今後と議会の役割について』というテーマで、平成24年度町村議会議員セミナーが開催され、本町議員も参加しました。

ポンプ操法大会
出場激励会



大会に向けて猛練習

8月8日、ポンプ操法大会出場に向けて、5月から総合スポーツ公園で練習に取り組んでいる消防団への激励に議員一同、訪問しました。

政友クラブ



北広島市役所前にて

7月10、11日、町長と北広島市視察研修を実施しました。テーマは『中山久蔵翁の足跡をたどり、市町の連携のヒントを探る』ことです。

(※久蔵翁については山田議員の一般質問参照)

北広島市 表敬訪問

北広島市長、議長らによる歓迎を受け、《河内国石川郡春日村松村三左衛門の次男》と刻まれる久蔵翁の墓前へ。緑に囲まれた落ち着いた雰囲気の中にありまし

た。次に、ホクレンの食と農のふれあいファーム『くるるの杜』を視察し、北広島輪厚工業団地へ。現在、平成25年7月工事完了予定で、総事業費76億円、6番目の開発が進んでいます。不況下の我々には別世界の感であります。札幌、千歳に近い交通の要所だからかもしれせん。次に、芸術文化ホールを視察。



国史跡に指定された島松駅通所

続いて、島松駅通所へ。駅通は、駅舎と人馬を備え、宿泊

と運送の便をはかるため設置されたもので、開拓期の北海道で重要な役割を果たした。島松駅通所は明治6年札幌本道の開通に伴い、設置されたもので、クラーク博士の「青年よ大志を抱け」という名言の舞台。明治14年には明治天皇ご巡幸の際の行在所に。久蔵翁は明治17年から経営を担当、昭和59年に国史跡に指定されました。当時の駅通の構造を残す建築物として道内最古のもの。正面右横にクラーク博士と久蔵翁の碑が並んで立っています。ガイドの村井明さんの詳細な説明に久蔵翁の偉大さを改めて認識しました。この後、議長・副市長・商工会会長など市の要人多数参加のもと、我々を歓迎する交流会が開会されました。



視察を歓迎しての交流会



視察を紹介する北海道新聞(7.11付)

翌日、北海道開拓資料館を訪れた後、赤レンガ庁舎(北海道旧本庁舎)へ。明治21年竣工、昭和44年重要文化財に指定。2Fへの階段の中間に久蔵翁と札幌大判官松本十郎の画が飾られている。140年の歴史の新興都市の人々の来訪者をもてなす心のあたたかみを感じるとともに、本町の1400年の歴史を大切にせねばならない。そう実感した研修でした。

日本共産党



福崎町役場前にて

7月17日、兵庫県福崎町に住民との協働のまちづくりや振興策、「住民福祉の向上」のために働く職員づくりのための研修制度、町内巡回バスについてなど、

移動手段の確保は住民の強い願いです。今後も様々な自治体の取組みを研究してまいります。 鳴田町長はじめ議会議員に日本共産党議員団、担当職員の方を交え視察研修を行ないました。 平成11年度から始まった巡回バスは走行距離70万キロを超え、10月には再編し、無料から100円へと有料にはなりません。が、住民の意見を聞き便数を増やし充実するそうです。 移動手段の確保は住民の強い願いです。今後も様々な自治体の取組みを研究してまいります。

太子町議会議員選挙の日程決まる

任期満了(10月27日)に伴い、町議会議員選挙が以下の日程で行なわれます。

《告示日》10月16日(火)
《投票日》10月21日(日)

9月定例会は 9月3日開会です。

日程については、ホームページ、広報無線でお知らせします。みなさんの傍聴をお待ちしております。